

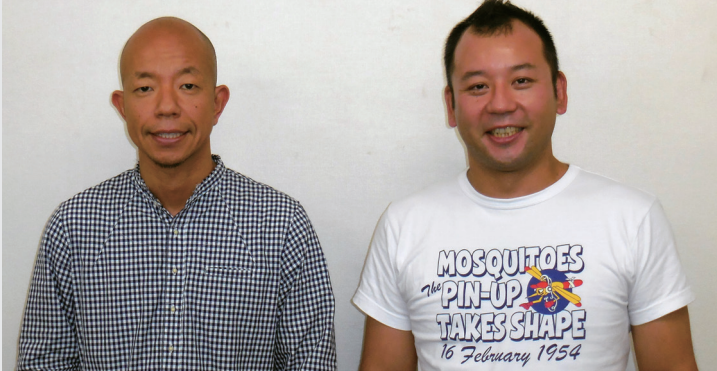


SHOW COM

Vol.9

～最新のお笑い情報をいち早くお届けするフリーペーパー『SHOW COM』（ショーコン）～

Interview 01：バイきんぐ



●DVD 第4弾『クィーン』。毎年、北沢タウンホールで公演している単独ライブですが、今年の公演の思い出は？
西村瑞樹：1日目の公演で4回くらい酸欠になっちゃいました。声を張り上げるネタが比較的多かったのと、運動不足もあって、ネタが終わった時に立ちくらみがひどかったです。“これは本当にヤバイな”と話していたら、2日目はスタッフさんが酸素ボンベを用意してくださって。おかげで、何とか乗り切れました。ネタの間は、ずっとスースー吸ってましたよ。
小峠英二：とにかく大変でした。毎年大変なんですけど、今年は特に。最終的にネタが上がるのも遅かったですし、例年以上に今年は余裕がなかった気がします。

●思い入れの強いネタは？
小峠英二：僕は「定食屋」です。最初に書いたネタなんですけど、“ぼったくりの定食屋”はいい設定だと思います。これは“ぼったくられないような店で、ぼったくられたら面白そうだな”というところから連想して、一番ハマったのが定食屋でした。スタートは“ぼったくり”発信です（笑）。
西村瑞樹：僕は「忌引き」ですかね。別のネタが1本ボツになって、小峠が後から書いたヤツなんです。
小峠英二：「忌引き」は2週間前にできたネタ。その前のものは、やってみてあまり面白くなかったんだよね。早めにネタを書き終えると、これが利点なんです。実際にやってみて、面白くなかったらバツ

ネタを磨き続ける最強コント・キングが放つ、新ネタ9本の傑作ライブを完全収録！

り、ボツにできる。“数が足りないから、このネタを何とか面白くしなきゃいけない”ということをしなくてすむんです。
●『クィーン』の観どころは？
小峠英二：短いネタで、パンパンパンと小気味よく進むので、観やすいと思います。“イマイチだな”と思うネタがもしあったとしても、4分くらい我慢すれば終わりますから（笑）。スキップ知らずのDVDじゃないですかね。
西村瑞樹：『Jack』の時に“最高傑作ができました”と言っていたんですが、今回もそれに負けず劣らずの内容だと思います。“今回が一番良かった”と言ってくれるスタッフさんが、多いんですよ。
小峠英二：確かに出来上がってきたDVDを観たら、『Jack』の時より笑ってましたね、自分が。観終わった時に、“あ～、よく笑った”と思ったほど。
●バイきんぐは、毎年クオリティを落とさずに単独をやっている印象があります。
小峠英二：『キングオブコント』で優勝させていただいて、“それなりに面白いネタが作れる”ということは証明されたと思います。ただ、コントを作らなくなったら、その能力って絶対に落ちる。年に1回くらいは頭を使わないと、ネタを書く能力がなくなる気になって、それが嫌だし悔しいんです。……ネタを書くのは好きじゃないです。キツイです。でもコントで世に出た

ので、まだまだやらなければいけないと思いますね。自分に課しているノルマに近いというか。間違いなく“やりたい”ではなく、“やらなければいけない”です。西村瑞樹：ネタがお笑いの基本みたいなところもあるし、“芸人をやっているなあ”という気持ちになります。年々、ネタの覚えが悪くなってきているので、単独がなくなったら僕はいよいよ痴呆になる気がして……。だから脳トレです（笑）。
●最後に、メッセージをお願いします。
小峠英二：『クィーン』を観て“面白いな”と思ってくれたら、来年も単独ライブをやると思うので、ぜひそちらにも足を運んでください。
西村瑞樹：観に来てくれた人は、ライブではカットされていた「はじめて2人で遊園地」の完全版をお楽しみに。観に来ていただけなかった人にとっては、“面白い”と思ってもらえる最高傑作になっております。ぜひ買って、観てください。



バイきんぐ
『クィーン』
ネタを磨き続ける最強コント・キングが放つ、新ネタ9本の傑作ライブを完全収録(2015年7月3日北沢タウンホールにて収録)！
ANSB-55199
¥3,800+税
2015年9月30日発売

最新作レビュー：東京03

毎年行なわれている東京03の単独ライブ。しかし2015年一発目のライブは、例年と様相が違った。いつもなら追加公演でやるスタイルを、本公演に持って来たのだ。
追加公演スタイルとは、何本ものコントを見せるのではなく、ひとつの物語を見せてゆく形。03以外にも出演者やゲストが登場、さらにビッグ・バンドも入れて、絢爛なステージを繰り広げる。出演者には追加公演でお馴染みの“東京03ファミリー”とも言えるおぎやはぎ、浜野謙太、GENTLE FOREST JAZZ BANDが集結。さらに今回は清水富美加、笠原秀幸が加わり、日替わりゲストとして劇団ひとり、佐々木彩夏（ももいろクローバーZ）、佐藤隆太、バナナマン、バカリズム、片桐仁（ラーメンズ）、篠原ともえ、山崎弘也（アンタッチャブル）と錚々たるメンバーが顔を揃えた。本作は、DVD2枚組。最終日を収録したDISC1、別日の日替わりゲストの出演シーンを収録したDISC2の豪華な内容になっている。
以前から東京03の盟友である構成作家のオークラ氏は、“いつか追加公演のス

タイトルで、全国を回ってみたい”と話していた。今回はその第一歩となる、本公演化と言えるだろう。
物語は、高校時代の同級生だった男3人（東京03）の酒の席から始まる。彼らが住む羅武林（らぶりん）町には、すべてのラブストーリーを把握する“町王”なる存在がいる。町王は絶大な権力を持ち、彼に逆らう者は殺し屋・ラブジョーカーの手にかけられてしまうのだ。矢作（おぎやはぎ）と浜野は、町王の命で動くチンピラだ。以前は仲間に笠原という男もいたが、あることが原因で縁を切られてしまう。浜野は、サイド・ビジネスで女性コーラス・メインのバンドをプロデュースしている。メンバーの構成は、コーラス+罵倒。罵倒担当の小木（おぎやはぎ）は、ただただ罵倒をするというナゾのポジションだ。
酒席で、同級生の友人に借金を申し込む角田。実は、角田は会社の金を横領し、クビになっていたのだ。理由は、デート・クラブに勤めるマーブル（清水）という女性に、熱を上げていたから。しかしこのマーブルは、裏の顔を隠し持っていた。町の伝説となっているレディースの総長・

東京03のラブストーリーは、現実を忘れて楽しむのに最高の超大作！

マーダズブルーだったのだ……。
羅武林町では、さびれた遊園地で記念祭を行なうことが決まった。ゲストは三十路不思議ちゃんアイドルのしのりん（篠原）。しかし、しのりんは“イベントに出たくない”とタダをこねる。この記念祭が行なわれるタイミングで、それぞれが隠し持っていた秘密が暴かれ、物語は大きくうねり出す……。
3時間を超える超大作だが、観ていて長さを感じさせないのは、テンポ良く展開が進むからだ。架空の町が設定ではあるが、“人間が誰しも持ち合わせている、冷めた目線からのツッコミ”という03らしさは健在。例えば小説家の豊本が焦りを隠して平常心を保とうとする隣りで、飯塚が“今、焦ってるよね？ 焦ってるよね？”と半笑いで指摘するシーンは、まさに03らしい視線だ。
また、台本がありながら自由度が高いところも、魅力のひとつ。セリフが台本なのか、アドリブなのか、区別がつかないものが多いのだ。この“生っぽさ”がグルーブ感を増し、物語を盛り上げる。特に日替わりゲストの何をかわからない感、そして自由にやればやるほど面白さが加

速していくおぎやはぎ&ザキヤマ。これも、出演者の特性を活かし尽くすオークラ脚本ならではの、なのだろう。
ヒロイン・清水富美加の熱演も、観どころだ。朝ドラ『まれ』でブレイク中の彼女だが、百戦錬磨の出演陣と丁々発止のやりとりで魅せる。女性勢ではさらに篠原ともえが、久々の“シノラー”解禁で華を添える(特典Discでは佐々木彩夏も出演)。
現実を忘れて楽しむのに、最高の1枚となった『東京03 FROLIC A HOLIC ラブストーリー「取り返しのつかない姿」』。まさに、夢のような約3時間。観終わってDiscを取り出す時、きつとあなたは笑顔で“あー、面白かった”と呟いていることだろう。
文：篠崎美緒



東京03
『東京03 FROLIC A HOLIC ラブストーリー「取り返しのつかない姿」』
2015年6月、赤坂ACTシアターにて開催されたスペシャル公演をDVD化！
ANSB-55200
¥5,000+税
2015年11月4日発売

神宮前四丁目視聴覚室

【第9回】香川県在住のお笑いDVDコレクター 菅家しのぶの名盤DVDレビュー!

2013年3月に松竹芸能を退社したさらば青春の光が、事務所を離れる直前にうしろシティと開催した合同ライブを収録。それぞれの鉄板ネタが3本ずつと、ユニット・コントが4本ほど披露されている。

鉄板ネタに関しては言わずがな。うしろシティがNHK新人演芸大賞を受賞した「美容室」、さらば青春の光がキングオブコント決勝で演じて話題となった「公園」な

ど、さまざまな舞台上で評価されているコントがぎゅっと演じられている。

しかし、4人によるユニット・コントは、それよりもなお魅力的だ。とあるお店を独断と偏見によってcafeなのか喫茶店なのか判断しようとする「cafeと喫茶店」、腕時計を売っている露店のサクラ(偽客)が純粋無垢な少年の反応に葛藤する「腕時計」、泥酔したふたりのサラリーマンが会社の

合併話をテーブル上の料理で例えようとする「居酒屋」など、全員の個性がぶつかり合って生じる化学反応が複雑な面白さを生み出している。

とりわけ、中学生の息子が同級生とケンカをしたと聞きつけて学校にやってきた父親が、その隠し続けてきた正体を明かされてしまう「ケンカ」は傑作だ。息子と息子の同級生と教師の3人によって、じわりじわりと追い詰められていく父親を演じる森田哲矢(さらば青春の光)の演技が素晴らしい。

コラボレーション特有のスペシャル感に甘んじることなく、コントに対して誠実に取り組んでいる一枚だ。特別だけと特別じゃない、だからこそ特別な笑いがここにはある。

菅家しのぶ(すがやししのぶ)
1985年生まれ、香川県在住のお笑いDVDコレクター。
お客さん目線のお笑い考察でブログ「逢魔時の視聴覚室」やTwitterを中心に注目を集めている。
Blog: <http://omoshow.blog95.fc2.com/>
Twitter: @Sugaya03

うしろシティ
うしろシティ・さらば青春の光『cafeと喫茶店』
2012年の『キングオブコント』ファイナリスト2組みによるコラボレーションDVD。鉄板ネタに加え、このDVDでしか観られないユニット・コントを4本収録!
ANSB-55123
¥2,857+税 販売中



宇宙 日本 居酒屋

うしろシティ・阿諏訪泰義の書き下ろしコラム! Vol.8『サギノミヤ梅干しサワー』

文・写真:阿諏訪泰義



豚もつの美味しい酒場で、炭酸に潜った梅干しをつつきながら夜を過ごしていたら、20代後半の男ふたりが入ってきた。

はつきものだ。かく言う私も作りたての眼鏡、もらいたてのライター、買ったてのイヤホン等々、手のひらサイズの物ならひと晩で失う才能の持ち主である為、十分に気持ちは理解できる。

「いらっしゃーい」
まだ客も少ない夕暮れの店内に大将のだみ声が響く。しかし席に着く様子もなく、男ふたりのうちのひとりが大将のいるカウンターに向かい言った。
「昨日、傘忘れたんですけど……。」
昨日は一日中雨だったはずだから、酔っけてこの店に忘れたのだろう。酒場に忘れ物

この店にもそういう客は多いようで、大将は特にリアクションをすることなく、店の奥から傘の束を持ってきた。
しかしその束の中に男の傘はなかったように、男は店内のテーブル席を捜索し始めた。大将も一緒になって探していたが、もうひとりの男は付き添いなのか、入り口付近の様子を見ているだけだ。
あまりにしつこく探すので大将もカウン

ターに戻り、私を含めた他の客が奇異な目を向けているのに気まづくなったのか、入り口で突っ立っていた男が言った。
「もういいだろ、あんな安い傘。」
私は基本的に傘をささない主義なのでわからないのだが、必死に探す様子を見て、そんな高価だった入り困難な傘が世の中にはあるのだろう、くらいの気持ちで見ている。しかし、どうやら安い傘らしい。
と言うことは、特別に思い入れのある傘としか考えられないな、と思っていたら、傘を探している男が言った。
「よくないよ、コーちゃん。初めてコーちゃんからもらったものだもん。」
……ん? なんか。一瞬にして変な展開になったぞ?
「また買うよ。」
「そういうことじゃないもん。あの傘借りてなかったら、コーちゃんち行ってなかったもん。」
大将を含めた周り全員と、一瞬にして目があつた気がした。んー。なるほど。

結局、傘は見つからず、男ふたりは店を出た。大将は料理に集中できなかったのか、いつもより増加減がバラバラだったけど、私もその衝撃が強すぎてよく味を覚えていない。



日本エレキテル連合の“コンテンツ電気”

日本エレキテル連合・中野聡子の唯一無二な存在感が炸裂するアートな世界! 【其の八】




日本エレキテル連合単独公演「死電区間」の東京、大阪公演が無事終了いたしました。あたたかいお客様に、感謝いたします。

しかし、まだまだ公演は続きます。これから各地へ赴き、まだお会いできてない皆様のもとへまいります。どうかツアーが終了した時、死電区間から抜け出し、生の方へ歩んでいますように。
(文・絵:中野聡子)



Pick Up Discs

ウルトラ 怪獣散歩
『ウルトラ 怪獣散歩』
鎌倉・江ノ島・京都という観光地で、観光客や地元の人たちが騒然とする中、ウルトラ怪獣たちが仲良く?ぶらり散歩! 怪獣&星人の声を担当するのは、東京03!!!
ANSB-55198
¥3,500+税 販売中



オモクリ監督 バカリズム
『オモクリ監督 バカリズム』
あなたの明日からが、ちょっと“オモ”になる、「オモクリ監督 ～O-Creator's TV show～」(フジテレビ系列で毎週日曜日 夜9時に放送)のオモクリを可能な限りたくさん収録した作品集として、一挙に6タイトルが発売となり、そのうちの4タイトルがコンテンツリーグからの発売となります。
「千原ジュニア」「バカリズム」「劇団ひとり」は、それぞれが監督した作品のみを集めた作品集①～③)。
どのタイトルも「オモ」も「おもしろいこと」が満載の作品集となっています。ぜひチェックしてください!

『オモクリ監督 バカリズム監督作品集』	ANSB-55202	¥3,000+税	販売中
『オモクリ監督 劇団ひとり監督作品集』	ANSB-55203	¥3,000+税	販売中
『オモクリ監督 オモクリ監督作品集②』	ANSB-55204	¥3,000+税	販売中
『オモクリ監督 ゲスト監督作品集③』	ANSB-55205	¥3,000+税	販売中



SHOW COM Vol.9
バイきんぐのインタビュー完全版は、コンテンツリーグのウェブサイトで読むことができます。
Published by Contents League
<http://contentsleague.jp>
© 2015 Contents League Inc.
All Rights Reserved.
CONTENTS LEAGUE

